

令和4年度（2022年度）スポーツ振興関連事業の概要 （スポーツ振興課）

1	○スポーツをする・みる・ささえる促進事業費				
<p>概要：北海道スポーツ推進条例を契機として、スポーツに参加する多様な主体のスポーツの「する」「みる」「ささえる」を促進するための各種施策を展開する。</p> <p>事業内容 （単位：千円）</p>					
		区 分	予算額	備 考	
障がい者 スポーツ の推進	①	障がい者と健常者が参加するパラスポーツ競技会体験会・セミナーの開催	3,270		
		障がい者スポーツ団体への講習会、体験会、強化練習等の活動経費支援	1,000		
スポーツ に親しむ 環境整備	②	総合型地域スポーツクラブの設置促進・質的充実に係る支援	2,000		
		総合型地域スポーツクラブによる情報交換会の開催	115		
スポーツ 観戦等の 機運醸成	③	本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎えた体験型教室の開催 保護者を対象とした講習会の開催やハンドブックの作成	2,915		
セカンド キャリア 形成促進	④	引退選手の活躍促進に向けたセミナーの開催	700		
担当課	スポーツ振興課	R 4 (2022) 予算額	10,000 千円	R 3 (2021) 予算額	-

2	○スポーツ王国北海道事業費				
<p>事業内容 （単位：千円）</p>					
		区 分	予算額	R3(2021)実績	
ス ポ ー ツ 機 会 向 上 発 掘 ・ 育 成 整 備	①	スポーツチャレンジ教室 本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎えた体験型教室の開催	2,658 (再掲)	チャレンジ教室 6会場 321名	
	②	ペアレンツスクール 保護者を対象とした講習会の開催やハンドブックの作成	257 (再掲)	ペアレンツスクール 5会場 120名	
	③	総合型地域スポーツクラブによる情報交換会の開催	115 (再掲)	・SCカンファレンス 参加者46名	
	④	指導者派遣事業 市町村主催のスポーツ教室等への指導者への派遣等	526	・指導者派遣 4回	
	⑤	有望選手発掘・育成事業 中高生を対象に有望選手を発掘・育成（カリック、スケルトン、ハイアロン） ・セレクションの開催 ・育成プログラムの実施（個別プログラム、集合プログラム）	6,850	・セレクションの実施 13名 ・地域育成 週3回 ・集合型育成 延べ8回 ・オンラインスポーツ科学講座 1回	
	⑥	大型スポーツ備品整備事業 老朽化したスポーツ備品の整備（移動式バスケットゴール）	43,675		
担当課	スポーツ振興課	R 4 (2022) 予算額	54,081 千円	R 3 (2021) 予算額	18,945 千円

3	○障がい者スポーツ振興費					
<p>概要：障がい者の体力維持や残存能力の向上を図り、スポーツ大会等を通じて道民の障がい者に対する理解を深めるため、大会の開催経費等に対し助成を行う。(公財)北海道障がい者スポーツ協会補助</p> <p>事業内容 (単位：千円)</p>						
区分		事業名		概要等	予算額	R3実績
大会開催事業		北海道障がい者スポーツ大会		・大会規模：選手600名 ・競技数：6競技	9,850	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)
		北海道障がい者冬季スポーツ大会		・大会規模：選手100名 ・競技数：2競技	1,557	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)
		はまなす全国車いすマラソン		・大会規模：選手100名 ・開催場所：札幌市内	14,000	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)
障がい者スポーツ指導者養成事業		障がい者スポーツ指導員養成講習		・地域で障がい者スポーツの普及、組織の育成、実技指導にあたる者の養成	396	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)
		競技指導者研修事業		・障がい者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し競技規則、実技講習会を実施	4,516	中止(新型コロナウイルス感染症の影響)
障がい者スポーツ普及促進事業		知的障がい者スポーツ教室		・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	361	延べ66名参加
		身体障がい者スポーツ教室		・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	293	延べ12名参加
		精神障がい者スポーツ教室		・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	368	延べ6名参加
障がい者スポーツ普及振興事業				・障がい者スポーツに関する調査・研究、地方障がい者スポーツの指導援助など障がい者スポーツの普及振興	586	障がい者スポーツの普及促進
担当課	スポーツ振興課	R4(2022)予算額	31,927千円	R3(2021)予算額	31,927千円	

4	○全国障害者スポーツ大会派遣事業費				
<p>概要：(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う全国障害者スポーツ大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金</p> <p>補助内容：北海道選手団の出場に最低限必要な実費経費(交通費・宿泊費等)を(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。</p> <p>事業内容 (単位：千円)</p>					
区分		内容			
大会名称		第22回全国障害者スポーツ大会			
開催地		栃木県			
開催期間		令和4年(2022年)10月29日～31日(3日間)			
競技種目		14競技(個人競技)陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ポッチャ (団体競技)バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、フットベースボール、バレーボール、サッカー			
担当課	スポーツ振興課	R4(2021)予算額	22,586千円	R3(2021)予算額	22,193千円

5	○北海道パラスポーツ連携促進事業費				
<p>概要：健常者スポーツと障がい者スポーツの連携を促進、障がい者スポーツの裾野拡大と競技力向上に取り組むとともに、地域への定着を目指す。</p> <p>事業内容 (単位：千円)</p>					
区分		内容		予算額	R3実績
パラスポーツ連携事業(スポーツ庁委託事業)		・実行委員会(年3回) ・オンラインスポーツ大会(年3回)		3,000	※スポーツ庁の公募委託事業であり、応募したが不採択
パラスポーツ発信プロジェクト(toto助成金)		・実行委員会(年2回) ・タレントスカウティング(特別支援学校等で発掘活動) ・測定会・体験会の開催(1回) ・発掘選手を対象にセミナー開催(年2回)		3,808	・オンラインセミナーを開催(1回開催・44名参加) ・障がい者スポーツ理解促進・PR動画を作成 ・道内の障がい者スポーツ団体・チーム等を調査し、道HPで紹介 ※測定会・体験会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止
担当課	スポーツ振興課	R4(2022)予算額	6,808千円	R3(2021)予算額	9,747千円

6	○第56回全国ろうあ者体育大会開催費補助金																																																				
【概要】 (一財) 全日本ろうあ連盟が令和4年度に北海道で開催する第56回全国ろうあ者体育大会に大会の開催経費に対し、助成を行う。																																																					
【事業概要】																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="5">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目 的</td> <td colspan="5">・スポーツを通じてろうあ者の健康な心と体を養い、自立と社会参加を促進 ・国民にろうあ者に対する正しい理解を深める</td> </tr> <tr> <td>日 程</td> <td colspan="5">9月15日(木)～18日(日)</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td colspan="5">札幌市、石狩市、江別市、恵庭市、千歳市</td> </tr> <tr> <td>主 催</td> <td colspan="5">一般財団法人全日本ろうあ連盟</td> </tr> <tr> <td>主 管</td> <td colspan="5">公益社団法人北海道ろうあ連盟、第56回全国ろうあ者体育大会北海道実行委員会</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td colspan="5">聴覚障がい者 約3,000名(選手:1,400名、関係者:1,600名)</td> </tr> <tr> <td>競 技</td> <td colspan="5">10競技(野球、卓球、バレーボール、陸上、サッカー、他5競技)</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容					目 的	・スポーツを通じてろうあ者の健康な心と体を養い、自立と社会参加を促進 ・国民にろうあ者に対する正しい理解を深める					日 程	9月15日(木)～18日(日)					会 場	札幌市、石狩市、江別市、恵庭市、千歳市					主 催	一般財団法人全日本ろうあ連盟					主 管	公益社団法人北海道ろうあ連盟、第56回全国ろうあ者体育大会北海道実行委員会					参加者	聴覚障がい者 約3,000名(選手:1,400名、関係者:1,600名)					競 技	10競技(野球、卓球、バレーボール、陸上、サッカー、他5競技)				
区 分	内 容																																																				
目 的	・スポーツを通じてろうあ者の健康な心と体を養い、自立と社会参加を促進 ・国民にろうあ者に対する正しい理解を深める																																																				
日 程	9月15日(木)～18日(日)																																																				
会 場	札幌市、石狩市、江別市、恵庭市、千歳市																																																				
主 催	一般財団法人全日本ろうあ連盟																																																				
主 管	公益社団法人北海道ろうあ連盟、第56回全国ろうあ者体育大会北海道実行委員会																																																				
参加者	聴覚障がい者 約3,000名(選手:1,400名、関係者:1,600名)																																																				
競 技	10競技(野球、卓球、バレーボール、陸上、サッカー、他5競技)																																																				
【R3年度実績】 R3年度は兵庫県が当番県(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)																																																					
担当課	スポーツ振興課	R4(2022) 予算額	3,000 千円	R3(2021) 予算額	—																																																

7	○北海道スポーツ表彰経費																																							
概 要 ：スポーツの振興に寄与したものとびスポーツの優秀な成績を収めた者を「北海道スポーツ賞」として顕彰することにより、スポーツを行うものに名誉を付与しその成績をたたえ、道民のスポーツに対する関心と熱意を喚起・高揚し、もって北海道のスポーツの振興を図る。																																								
過去の受賞者数																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H30 (2018)</th> <th>R1 (2019)</th> <th>R2 (2020)</th> <th>R3 (2021)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツの振興に寄与した者</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)</td> <td>26</td> <td>4</td> <td>34</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>31</td> <td>9</td> <td>39</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>特別表彰</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スポーツ奨励賞(H20(2008)新設)</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	スポーツの振興に寄与した者	5	5	4	4	スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)	26	4	34	4	スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)	—	—	1	—	合 計	31	9	39	8	特別表彰	—	—	—	—	スポーツ奨励賞(H20(2008)新設)	4	3	0	3
区 分	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)																																				
スポーツの振興に寄与した者	5	5	4	4																																				
スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)	26	4	34	4																																				
スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)	—	—	1	—																																				
合 計	31	9	39	8																																				
特別表彰	—	—	—	—																																				
スポーツ奨励賞(H20(2008)新設)	4	3	0	3																																				
担当課	スポーツ振興課	R4(2022) 予算額	305 千円	R3(2021) 予算額	305 千円																																			

8	○北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費				
概 要 ：H22(2010).10月に北海道とソウル特別市が友好交流協定を締結したことを契機として、スポーツ分野の観点からソウル国際マラソンと北海道マラソンとの交流を図り、両地域の友好親善を深める。					
1 事業概要 ○両地域における最大規模のマラソン大会のランナーの交流を図り、それぞれの大会をPRすることにより、一般市民ランナーの交流拡大をめざし、両地域の友好交流の促進とスポーツ振興を図る。					
2 事業内容 (北海道) 選手受け入れ(ソウル国際マラソン出場者2名程度招待) ソウル国際マラソン大会へ北海道知事賞等を出賞 (ソウル) 選手受派遣(2名程度派遣) ソウル特別市長賞出賞					
※新型コロナウイルス感染症の影響によりR3は中止					
担当課	スポーツ振興課	R4(2022) 予算額	290 千円	R3(2021) 予算額	371 千円

9	○スポーツ競技力向上推進費補助金				
概要：(公財)北海道スポーツ協会が実施する選手強化事業等に要する経費に対する補助 事業内容 (単位：千円)					
事業名		事業内容	実施規模 R4(2022)	予算額	R3(2021)実績
指定強化指導者研修会		・実技を中心とした系統的指導法 ・技術の習得	50種目 130人	1,666	参加指導者73人
選手強化事業	ジュニア道内合宿	・1年を通じて実施される道内の合宿	50種目 1,150人	57,767	39種目 延べ159回 参加者 3,365人
	強化合宿道外合宿	・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿	44種目 330人		23種目 延べ35回 参加者 491人
	有望選手活動支援	・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援	対象10人 1人あたり20万円		対象5人
競技団体育成事業		・競技力向上推進委員会		125	3回
スポーツ医・科学トータルサポート事業		・合宿地・国体会場等での医学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営(調査研究)	3種目	5,473	6種目 味・トスタッフ7人
担当課	スポーツ振興課	R4(2022) 予算額	65,031 千円	R3(2021) 予算額	65,031 千円

10	○ジュニアスポーツアスリート強化育成事業費				
概要：(公財)北海道スポーツ協会が実施するジュニア選手の強化合宿に要する経費に対する補助 事業内容 (単位：千円)					
事業名		事業内容	実施規模 R4(2022)	予算額	R3(2021)実績
夏季ジュニアスポーツアスリート強化育成		将来トップ選手として活躍できる可能性のある選手を対象に、各競技団体が行う強化合宿に要する経費を支援	7種目	12,451	(道内合宿)4種目 参加者105人 (道外合宿)3種目 参加者 61人
冬季ジュニアスポーツアスリート強化育成			7種目	12,175	(道内合宿)9種目 参加者930人 (道外合宿)4種目 参加者 45人
担当課	スポーツ振興課	R4(2022) 予算額	24,626 千円	R3(2021) 予算額	24,626 千円

11	○スポーツ団体活動費補助金				
概要：(公財)北海道スポーツ協会が行う本道スポーツの振興と指導者の養成を図るため、事業に補助する。 事業内容 (単位：千円)					
事業名		内 容		予算額	R3(2021)実績
国民体育大会運営事業		①国体予選会事業の一部補助 41団体 ②人件費		606	北海道予選会 37競技団体
競技団体育成事業		①競技団体運営活動費助成 14団体 ②人件費		410	助成6団体
スポーツ指導員養成事業		①スポーツ指導者ブロック研究会 3会場 ②人件費		2,318	書面開催
スポーツ少年団育成事業		①スポーツ少年団大会 1会場 ②スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場		800	書面開催
担当課	スポーツ振興課	R4(2022) 予算額	4,134 千円	R3(2021) 予算額	4,134 千円

12	○国民体育大会派遣費				
概要：(公財)北海道スポーツ協会が行う国民体育大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金 補助内容：北海道選手団の国体出場に最低限必要な実費経費(交通費・宿泊費・用具輸送費)を(公財)北海道スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。 事業概要 令和4年度(2022年度)派遣者数 1,049人(役員16名、選手・監督1,033人)					
区 分		令和3年(2021年)		令和4年(2022年)	
本大会		三重県(R3.10) ※中止		栃木県(R4.10)	
冬季	スケート			青森県(R5.1)	
	アイスホッケー		栃木県(R4.1)		
	スキー		秋田県(R4.2)		岩手県(R5.2)
担当課	スポーツ振興課	R4(2022) 予算額	86,333千円	R3(2021) 予算額	85,944千円

13	○札幌ドーム整備費補助金				
<p>概要：札幌市が建設した全天候型多目的施設（札幌ドーム）は、道民の生活文化の向上に資する施設であることから、建設費の一部に対し助成する。 [補助金交付先：札幌市]</p> <p>事業内容：助成総額 100億円を限度 建設時(H10(1998)～H12(2000)) 各4億円 償還時(H13(2001)～R13(2031)) 各年度 負担額の範囲内</p>					
担当課	スポーツ振興課	R 4 (2022) 予算額	365,000千円	R 3 (2021) 予算額	365,000千円

14	○広域拠点スポーツ施設整備費補助金				
<p>概要：本道のスポーツの振興を図るため、広域拠点スポーツ施設として、釧路市が建設した湿原の風アリーナ及び帯広市が建設した屋内スピードスケート場に対し補助する。 [補助金交付先：釧路市、帯広市]</p> <p>事業内容：起債償還に対する補助 釧路市 (H21(2008)～R 5(2023)) 帯広市 (H22(2009)～R11(2029))</p>					
担当課	スポーツ振興課	R 4 (2022) 予算額	70,941千円	R 3 (2021) 予算額	77,341千円

15	○北海道立総合体育センター管理運営費														
<p>概要：道立総合体育センターの効率的運営を図るため、指定管理者へ負担金を支出する。 [指定管理者：(公財)北海道スポーツ協会]</p> <p>施設概要等</p> <table border="1"> <tr> <td>施設名称</td> <td>北海道立総合体育センター（開館：平成12(2000年)年2月13日）</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1</td> </tr> <tr> <td>主な施設</td> <td>メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td>(公財)北海道スポーツ協会</td> </tr> <tr> <td>指定期間</td> <td>令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027)3月31日(5年間)</td> </tr> </table>						施設名称	北海道立総合体育センター（開館：平成12(2000年)年2月13日）	所在地	札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1	主な施設	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室	指定管理者	(公財)北海道スポーツ協会	指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027)3月31日(5年間)
施設名称	北海道立総合体育センター（開館：平成12(2000年)年2月13日）														
所在地	札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1														
主な施設	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室														
指定管理者	(公財)北海道スポーツ協会														
指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027)3月31日(5年間)														
担当課	スポーツ振興課	R 4 (2022) 予算額	240,508千円	R 3 (2021) 予算額	397,463千円										

16	○北海道立北見体育センター管理運営費														
<p>概要：道立北見体育センターの効率的運営を図るため、指定管理者へ負担金を支出する。 [指定管理者：(公財)北見市体育協会]</p> <p>施設概要等</p> <table border="1"> <tr> <td>施設名称</td> <td>北海道立北見体育センター（開館：昭和57年(1982年)6月6日）</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>北見市東陵町27 東陵運動公園内</td> </tr> <tr> <td>主な施設</td> <td>アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td>(公財)北見市体育協会</td> </tr> <tr> <td>指定期間</td> <td>令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日(5年間)</td> </tr> </table>						施設名称	北海道立北見体育センター（開館：昭和57年(1982年)6月6日）	所在地	北見市東陵町27 東陵運動公園内	主な施設	アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室	指定管理者	(公財)北見市体育協会	指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日(5年間)
施設名称	北海道立北見体育センター（開館：昭和57年(1982年)6月6日）														
所在地	北見市東陵町27 東陵運動公園内														
主な施設	アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室														
指定管理者	(公財)北見市体育協会														
指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日(5年間)														
担当課	スポーツ振興課	R 4 (2022) 予算額	49,917千円	R 3 (2021) 予算額	65,166千円										

令和4年度（2022年度）スポーツ振興関連事業の概要（総合政策部関連）

17	○北海道未来人材応援事業費										
<p>概要：本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」等により支援します。</p> <p>事業の概要 [スポーツコースの概要] ※他に学生留学、文化芸術、未来の匠の3コースがあります。</p> <p>1 主な支援対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢 北海道在住の18歳から39歳の方 ・対象 3～12ヶ月の海外研修 ・人数 若干名 <p>2 主な支援内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 40%;">滞在費（定額）</td> <td>12万円/月又は16万円/月（派遣先地域により変動）</td> </tr> <tr> <td>往復渡航費（定額）</td> <td>10万円又は20万円（派遣先地域により変動）</td> </tr> <tr> <td>授業料、研修費、入学金等及び大会参加費・機材運搬費</td> <td>上限30万円</td> </tr> </table> <p>3 令和3年度（2021年度）実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコース 0名 <p>4 その他 令和4年度（2022年度）の募集要項等詳細は、道ホームページに掲載。 ※予算額は、スポーツコースのほか、文化芸術コース、未来の匠コースを含む額です。</p>						滞在費（定額）	12万円/月又は16万円/月（派遣先地域により変動）	往復渡航費（定額）	10万円又は20万円（派遣先地域により変動）	授業料、研修費、入学金等及び大会参加費・機材運搬費	上限30万円
滞在費（定額）	12万円/月又は16万円/月（派遣先地域により変動）										
往復渡航費（定額）	10万円又は20万円（派遣先地域により変動）										
授業料、研修費、入学金等及び大会参加費・機材運搬費	上限30万円										
担当課	地域政策課	R4（2022）予算額	9,000 千円	R3（2021）予算額	9,000 千円						

18	○地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）																																														
<p>概要：地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取組の促進を図るため、市町村等が地域課題の解決や地域活性化を目的に取り組む各種事業に対して支援する。</p> <p>事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: left;">(1) ハード系事業</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">交付対象事業</td> <td colspan="3">・スポーツ振興事業 （屋内スポーツ施設整備事業、屋外スポーツ施設整備事業、総合体育館整備事業）など*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">交付対象者 交付限度額</td> <td style="width: 40%;">交付対象者</td> <td style="width: 15%;">上限額</td> <td style="width: 15%;">下限額</td> </tr> <tr> <td>・市町村</td> <td>1億円</td> <td>500万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・一部事務組合、広域連合</td> <td>2億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: left;">(2) ソフト系事業</td> </tr> <tr> <td>交付対象事業</td> <td colspan="3">・スポーツ振興事業(スポーツ振興事業) など*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">交付対象者 交付限度額</td> <td style="width: 40%;">交付対象者</td> <td style="width: 15%;">上限額</td> <td style="width: 15%;">下限額</td> </tr> <tr> <td>・市町村</td> <td>500万円</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等</td> <td>1,000万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・総合振興局長・振興局長が適当と認める者</td> <td>300万円</td> <td>10万円</td> </tr> </table>						(1) ハード系事業				交付対象事業	・スポーツ振興事業 （屋内スポーツ施設整備事業、屋外スポーツ施設整備事業、総合体育館整備事業）など*			交付対象者 交付限度額	交付対象者	上限額	下限額	・市町村	1億円	500万円		・一部事務組合、広域連合	2億円		(2) ソフト系事業				交付対象事業	・スポーツ振興事業(スポーツ振興事業) など*			交付対象者 交付限度額	交付対象者	上限額	下限額	・市町村	500万円	50万円		・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等	1,000万円			・総合振興局長・振興局長が適当と認める者	300万円	10万円
(1) ハード系事業																																															
交付対象事業	・スポーツ振興事業 （屋内スポーツ施設整備事業、屋外スポーツ施設整備事業、総合体育館整備事業）など*																																														
交付対象者 交付限度額	交付対象者	上限額	下限額																																												
	・市町村	1億円	500万円																																												
	・一部事務組合、広域連合	2億円																																													
(2) ソフト系事業																																															
交付対象事業	・スポーツ振興事業(スポーツ振興事業) など*																																														
交付対象者 交付限度額	交付対象者	上限額	下限額																																												
	・市町村	500万円	50万円																																												
	・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等	1,000万円																																													
	・総合振興局長・振興局長が適当と認める者	300万円	10万円																																												
担当課	地域政策課	R4（2022）予算額	4,180,000千円 (地域づくり推進事業分)	R3（2021）予算額	4,180,000千円 (地域づくり推進事業分)																																										

令和4年度（2022年度）スポーツ振興関連事業の概要（保健福祉部関連）

19	○明るい長寿社会づくり推進事業費				
<p>概要：介護予防の観点から、高齢者のスポーツ・各種活動の推進組織づくり、社会参加活動の振興のための指導者等養成、仲間づくり支援、老人週間事業を総合的に実施する。</p>					
<p>事業内容</p>					
				(単位：千円)	
項	目	内	容	R 3 (2021)実績	
高齢者のスポーツ・健康づくり事業		<ul style="list-style-type: none"> ・全道高齢者スポーツ等大会の開催 ・全国健康福祉祭への選手等の派遣 		<ul style="list-style-type: none"> ・5種目実施、参加者254人 ・中止 	
地域活動等推進組織づくり事業		地域活動を推進するための組織づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・自主活動2事業への支援、 ・サイト運営(90団体掲載) 	
高齢者の社会活動の振興のための指導者育成事業		高齢指導者（シニアリーダー）の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・78名の指導者登録 ・リーフレット作成、配布 	
老人週間事業		<ul style="list-style-type: none"> ・全道高齢者作品展の開催 ・老人週間啓発事業（パネル展の開催） 		<ul style="list-style-type: none"> ・来場者延べ425名 ・来場者延べ113名 	
担当課	高齢者保健福祉課	R 4 (2022) 予算額	25,162千円	R 3 (2021) 予算額	29,598千円

令和4年度（2022年度）スポーツ振興関連事業の概要（経済部関連）

20	○北海道アウトドア活動振興環境整備事業費														
<p>【概要】 アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営や、アウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アウトドアガイド資格等の認定登録・管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格認定証書等の作成・交付 ・ 試験実施状況等の確認 ○ 資格制度の運営管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格制度推進委員会の開催 ○ 資格制度の普及PR <p>【令和3年度（2021年度）実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格認定等 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトドアガイド資格新規認定</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド資格更新認定</td> <td>195件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド検定合格認定</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>アウトドア講習修了認定</td> <td>137件</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	件 数	アウトドアガイド資格新規認定	29件	アウトドアガイド資格更新認定	195件	アウトドアガイド検定合格認定	2件	アウトドア講習修了認定	137件
区 分	件 数														
アウトドアガイド資格新規認定	29件														
アウトドアガイド資格更新認定	195件														
アウトドアガイド検定合格認定	2件														
アウトドア講習修了認定	137件														
担当課	観光振興課	R4(2022) 予算額	368 千円	R3(2021) 予算	368 千円										

令和4年度（2022年度）スポーツ振興関連事業の概要（教育庁関連）

21	○学校スポーツ振興事業費				
概要：学校スポーツ活動の普及促進を図るため、運動部活動における各種大会等に参加するための教員引率旅費を措置するとともに、全道大会の開催費について補助を行う。					
(単位：千円)					
事業内容					
	区 分		事 業 内 容	予算額	R 3 (2021)実績
全国大会	生徒引率旅費	中体連	・参加生徒の引率教員旅費	19,423	全国大会引率110校154人
		高体連		15,244	全国大会引率67校102人
		(総合体育大会) 高体連 (選抜等大会) 定体連 全盲体連		4,441	全国大会引率5校5人
				1,165	全国大会引率5校8人
				306	全国大会中止
地区大会	生徒引率旅費	中体連	・参加生徒の引率教員旅費	10,089	
全道大会	開催費	中体連	・全道大会開催費の補助	470	全道大会開催費補助470千円
		高体連		582	全道大会開催費補助582千円
		定体連		100	全道大会開催費補助100千円
担当課	健康・体育課	R 4 (2022) 予算額	51,820千円	R 3 (2021) 予算額	61,653千円

22	○学校体育推進事業費				
概要：中学校の武道必修化を踏まえ、安全かつ効果的な授業の充実を図るため、外部指導者の派遣等を行う。					
事業概要等					
	区 分		目 的	事 業 内 容	R 3 (2021)実績
	武道等指導推進事業 ～国委託事業		<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度（2012年度）から武道及びダンスが必修となったことから安全管理、指導体制の充実を図る ・武道授業における複数種目の実践など指導の柔軟化の実践研究を通じた武道指導の充実 ・中学校における武道等の授業を安全に行うために、外部指導者等を派遣し、安全で効果的な授業の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道振興協議会及び武道講習会の実施 ・武道指導推進モデル校の指定 ・町道場等から学校へ外部指導者派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道振興協議会の開催 ・武道講習会の開催 ・地域の指導者の派遣 柔道等37校延べ37人
	インクルーシブ体育 活動実践研究事業 ～国委託事業		<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級の体育授業において障害のある児童生徒がと共に学べる学習プログラムの開発 ・子に応じた指導計画・指導内容・指導方法の工夫に関する実践研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者会議の実施 ・研究指定校の指定 ・学習プログラム、指導方法等の実践研究 	-
	幼児期からの運動習慣 形成プロジェクト ～国委託事業		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校をはじめ、地域において、未就学の幼児から小学校の児童までを対象に、その発達段階に応じた運動習慣の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者会議の実施 ・研究指定校の指定 ・運動遊びプログラムの作成、実施 	-
担当課	健康・体育課	R 4 (2022) 予算額	11,617千円	R 3 (2021) 予算額	4,891千円

23	○学校・家庭・地域の連携協力推進事業費（放課後子供教室推進事業費補助金）				
概要：放課後や週末等に全ての子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、学習や体験活動の機会を提供することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。					
(単位：千円)					
事業内容					
実施主体	項 目	事 業 内 容 等	補助率	R3(2021)実績	
市 町 村	放課後子供教室の実施	全ての子どもを対象に活動拠点を提供 開設備品(カーペット、テレビ、机等)の整備	国1/3以内 道1/3以内 市町村1/3以上	実施市町村・教室数 (政令都市、中核市除く) ・64市町村 152教室 対象学校 (小学校168校) (中学校7校)	
	放課後子供教室の備品整備				
	コワーキネターの配置	学校、保護者、その他関係機関との調整 (児童クラブとの調整)			
	運営委員会の実施	事業計画、安全管理方策、実施後の検証・評価等 (児童クラブ含む)(構成員:行政、教職員、児童クラブ関係者、PTA、地域住民等)			
北 海 道	推進委員会の開催	放課後対策の総合的な在り方等を検討 (構成員:道教委、保福部、教職員、学識経験者等)	国 1/3 道 2/3	年12回開催 道内12会場 参加者1,366名	
	指導者研修の実施	コワーキネター等への研修の実施			
担当課	社会教育課	R 4 (2022) 予算額	48,124千円	R 3 (2021) 予算額	52,526千円

24	○体力向上支援事業費																
<p>【概要】 体育を専門とする教員の配置やその巡回指導を通して、地域の課題解決のための授業改善や学校等における児童の運動習慣の定着に向けた取組などを推進するほか、指導力の優れた中学校体育教員を講師とした教科指導力向上を図る取組を実施するなど、教員の資質向上や学校等における体力向上の取組の改善・充実を支援する。</p> <p>【事業概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目的</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校体育専科教員活用事業</td> <td>・体育専科教員の配置 ・体育授業の改善・充実に向けた教員の指導力向上や学校全体の体力向上の取組の充実</td> <td>・学級担任とのチームティーチング等による指導 ・運動意識向上や運動習慣定着などに向けた学校全体の取組への支援 ・近隣校の体力向上の取組に対する指導助言 ・授業研究や管内課題の解決に向けたブロック別協議 ・体育専科教員の実践概要資料の作成</td> </tr> <tr> <td>小学校体育エキスパート教員巡回指導事業</td> <td>・エキスパート教員の配置 ・複数市町村の小学校巡回 ・巡回市町村や学校における体力向上の取組の改善・充実</td> <td>・複数市町村内の小学校への訪問、指導助言（1人2市町村程度） ・チームティーチング等による指導 ・体力向上の取組に対する指導助言 ・体育専科教員への指導助言</td> </tr> <tr> <td>中学校授業実践セミナー</td> <td>○若年層の中学校保健体育科教員の教科指導力向上</td> <td>・市町村の課題等を踏まえた住民向け研修会の実施 ・指導力の優れた中学校教員を講師として選定 ・若年層の中学校保健体育科教員を対象とした研修道内4ブロックで開催 ・公開授業やワークショップなど実践的な研修</td> </tr> </tbody> </table>						区分	目的	事業内容	小学校体育専科教員活用事業	・体育専科教員の配置 ・体育授業の改善・充実に向けた教員の指導力向上や学校全体の体力向上の取組の充実	・学級担任とのチームティーチング等による指導 ・運動意識向上や運動習慣定着などに向けた学校全体の取組への支援 ・近隣校の体力向上の取組に対する指導助言 ・授業研究や管内課題の解決に向けたブロック別協議 ・体育専科教員の実践概要資料の作成	小学校体育エキスパート教員巡回指導事業	・エキスパート教員の配置 ・複数市町村の小学校巡回 ・巡回市町村や学校における体力向上の取組の改善・充実	・複数市町村内の小学校への訪問、指導助言（1人2市町村程度） ・チームティーチング等による指導 ・体力向上の取組に対する指導助言 ・体育専科教員への指導助言	中学校授業実践セミナー	○若年層の中学校保健体育科教員の教科指導力向上	・市町村の課題等を踏まえた住民向け研修会の実施 ・指導力の優れた中学校教員を講師として選定 ・若年層の中学校保健体育科教員を対象とした研修道内4ブロックで開催 ・公開授業やワークショップなど実践的な研修
区分	目的	事業内容															
小学校体育専科教員活用事業	・体育専科教員の配置 ・体育授業の改善・充実に向けた教員の指導力向上や学校全体の体力向上の取組の充実	・学級担任とのチームティーチング等による指導 ・運動意識向上や運動習慣定着などに向けた学校全体の取組への支援 ・近隣校の体力向上の取組に対する指導助言 ・授業研究や管内課題の解決に向けたブロック別協議 ・体育専科教員の実践概要資料の作成															
小学校体育エキスパート教員巡回指導事業	・エキスパート教員の配置 ・複数市町村の小学校巡回 ・巡回市町村や学校における体力向上の取組の改善・充実	・複数市町村内の小学校への訪問、指導助言（1人2市町村程度） ・チームティーチング等による指導 ・体力向上の取組に対する指導助言 ・体育専科教員への指導助言															
中学校授業実践セミナー	○若年層の中学校保健体育科教員の教科指導力向上	・市町村の課題等を踏まえた住民向け研修会の実施 ・指導力の優れた中学校教員を講師として選定 ・若年層の中学校保健体育科教員を対象とした研修道内4ブロックで開催 ・公開授業やワークショップなど実践的な研修															
担当課	健康・体育課	R 4 (2022) 予算額	5,178千円	R 3 (2021) 予算額	6,527千円												

25	○学校部活動の総合的な支援体制構築事業費																				
<p>概要：教員の負担軽減及び部活動指導体制の充実を図るため、学校部活動に地域の外部人材などの部活動指導員を配置するとともに、指導方法の研修などを実施する。</p> <p>事業概要 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>概要</th> <th>予算額</th> <th>R 3 (2021) 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部活動指導員の任用</td> <td>・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施</td> <td>道立学校：25,305 中学校：17,138</td> <td>部活動指導員配置実績 ・道立学校：118校 208部活動 208人</td> </tr> <tr> <td>指導の充実等に関する研修</td> <td>・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施</td> <td>1,335</td> <td>・中学校：16市町 39校 63部活動 63人</td> </tr> <tr> <td>専門家による意見交換</td> <td>・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定</td> <td>331</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区分	概要	予算額	R 3 (2021) 実績	部活動指導員の任用	・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施	道立学校：25,305 中学校：17,138	部活動指導員配置実績 ・道立学校：118校 208部活動 208人	指導の充実等に関する研修	・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施	1,335	・中学校：16市町 39校 63部活動 63人	専門家による意見交換	・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定	331	
区分	概要	予算額	R 3 (2021) 実績																		
部活動指導員の任用	・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施	道立学校：25,305 中学校：17,138	部活動指導員配置実績 ・道立学校：118校 208部活動 208人																		
指導の充実等に関する研修	・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施	1,335	・中学校：16市町 39校 63部活動 63人																		
専門家による意見交換	・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定	331																			
担当課	教職員課	R 4 (2022) 予算額	44,109千円	R 3 (2021) 予算額	44,109千円																

26	○部活動改革調査研究事業費												
<p>概要：休日の部活動の段階的な地域移行や合同部活動の実践研究を実施し、地域の実情を踏まえた望ましい部活動の在り方を検討する。</p> <p>事業概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>項目</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地域運動部活動推進事業（スポーツ庁委託事業）</td> <td>休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究</td> <td>○休日の部活動を地域のスポーツ活動への移行に取り組む中学校（拠点校）を所管する市町村教育委員会と連携し、指導者・運営団体の確保、費用負担の在り方等の課題解決に向けた実施体制の構築 ○拠点校における取組の共有や検証、成果の普及方法の検討などを行う「検討・運営会議」の設置 ○拠点校・市町村教育委員会に対する指導助言などの支援 ○事業の検証と成果の普及</td> </tr> <tr> <td>合同部活動等の推進に係る実践研究</td> <td>○複数校の生徒が学校の枠を超えて合同で活動する部活動（合同部活動）の課題解決に向けた実施体制の構築 ○取組の共有や検証、成果の普及方法の検討などを行う「検討・運営会議」の設置 ○拠点校・市町村教育委員会に対する指導助言などの支援 ○事業の検証と成果の普及</td> </tr> </tbody> </table>						区分	項目	事業内容	地域運動部活動推進事業（スポーツ庁委託事業）	休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究	○休日の部活動を地域のスポーツ活動への移行に取り組む中学校（拠点校）を所管する市町村教育委員会と連携し、指導者・運営団体の確保、費用負担の在り方等の課題解決に向けた実施体制の構築 ○拠点校における取組の共有や検証、成果の普及方法の検討などを行う「検討・運営会議」の設置 ○拠点校・市町村教育委員会に対する指導助言などの支援 ○事業の検証と成果の普及	合同部活動等の推進に係る実践研究	○複数校の生徒が学校の枠を超えて合同で活動する部活動（合同部活動）の課題解決に向けた実施体制の構築 ○取組の共有や検証、成果の普及方法の検討などを行う「検討・運営会議」の設置 ○拠点校・市町村教育委員会に対する指導助言などの支援 ○事業の検証と成果の普及
区分	項目	事業内容											
地域運動部活動推進事業（スポーツ庁委託事業）	休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究	○休日の部活動を地域のスポーツ活動への移行に取り組む中学校（拠点校）を所管する市町村教育委員会と連携し、指導者・運営団体の確保、費用負担の在り方等の課題解決に向けた実施体制の構築 ○拠点校における取組の共有や検証、成果の普及方法の検討などを行う「検討・運営会議」の設置 ○拠点校・市町村教育委員会に対する指導助言などの支援 ○事業の検証と成果の普及											
	合同部活動等の推進に係る実践研究	○複数校の生徒が学校の枠を超えて合同で活動する部活動（合同部活動）の課題解決に向けた実施体制の構築 ○取組の共有や検証、成果の普及方法の検討などを行う「検討・運営会議」の設置 ○拠点校・市町村教育委員会に対する指導助言などの支援 ○事業の検証と成果の普及											
担当課	教職員課	R 4 (2022) 予算額	8,695千円	R 3 (2021) 予算額	6,350千円								

27	○学校体育振興費（令和4年度全国中学校体育大会補助金）				
概要：令和4年度開催の全国中学校体育大会に対する補助を行う。					
事業内容 (単位：千円)					
		交付先	交付金額		
		令和4年度全国中学校体育大会北海道・東北大会実行委員会	20,000千円		
担当課	健康・体育課	R4(2022)予算額	20,000千円	R3(2021)予算額	—

28	○部活動の地域移行を活かしたスポーツ・文化のまちづくり協働推進事業費				
【概要】市町村、スポーツ・文化協会、民間企業等と連携し、部活動に代わる活動拠点を創出するなど学校の働き方改革と持続可能な部活動の実現に向けた体制を構築する。					
【事業概要】					
区分		対象	事業内容		
部活動地域移行モデル（スポーツ庁委託事業）		市町村、スポーツ・文化協会、民間企業等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 希望教員と地域人材により、学校種を超えて指導体制を構築 ○ スポーツ・文化協会に指導を希望する教員を所属させ、地域人材とともに指導体制を構築 ○ 民間のスポーツクラブに希望する教員を所属させ、指導体制を構築 		
検討会議		○ 実践校の成果報告を基に、市町村、スポーツ・文化協会、民間企業等と地域移行モデルの活動実施に向けた検討を実施			
【R3年度実績】なし					
担当課	教職員課	R4(2022)予算額	12,510千円	R3(2021)予算額	—

29	○令和5年度全国高等学校総合体育大会準備費				
【概要】全国高等学校体育連盟等が主催となり、教育活動の一環として高等学校（中等教育学校後期課程を含む）生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動を含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成するため、令和5年（2023年）全国高等学校総合体育大会（インターハイ）開催に向けて準備を進める。					
【事業概要】					
区分		内容			
実行委員会		<ul style="list-style-type: none"> ○ 実行委員会の開催、年間の事業計画及び収支決算等の報告 ○ 全国高体連全体会議、高校総体中央委員会及び先催県・後催県引継会等の出席 ○ R4開催地（徳島県：100日前イベント）の視察 			
専門部会		<ul style="list-style-type: none"> ○ R4開催地（令和4年度全国高等学校総合体育大会四国総体）の視察 ○ 大会運営に関わる競技役員（教員及び生徒）等の養成 ○ 総合開会式に実施する生徒による演技の合同練習 ○ 大会開催の300日前イベントの開催 			
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技種目別大会を開催する会場地へ担当教員を派遣 ○ 会場地へ派遣する担当教員の代替非常勤講師を任用 			
担当課	高校総体推進課	R4(2022)予算額	152,000千円	R3(2021)予算額	50,000千円